

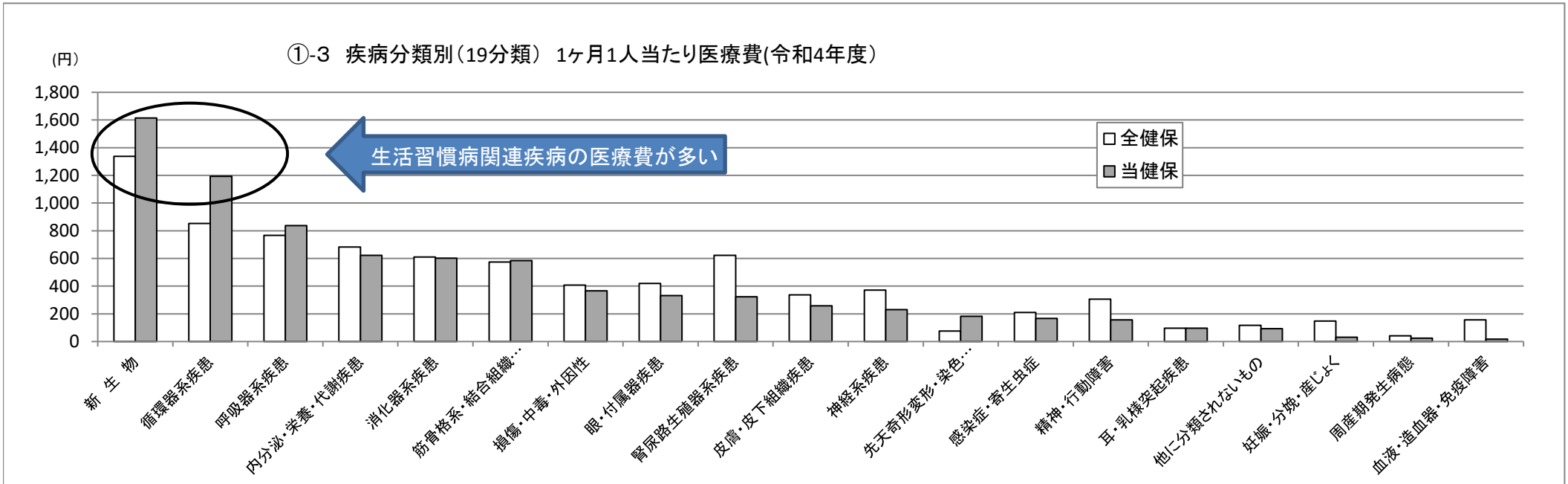
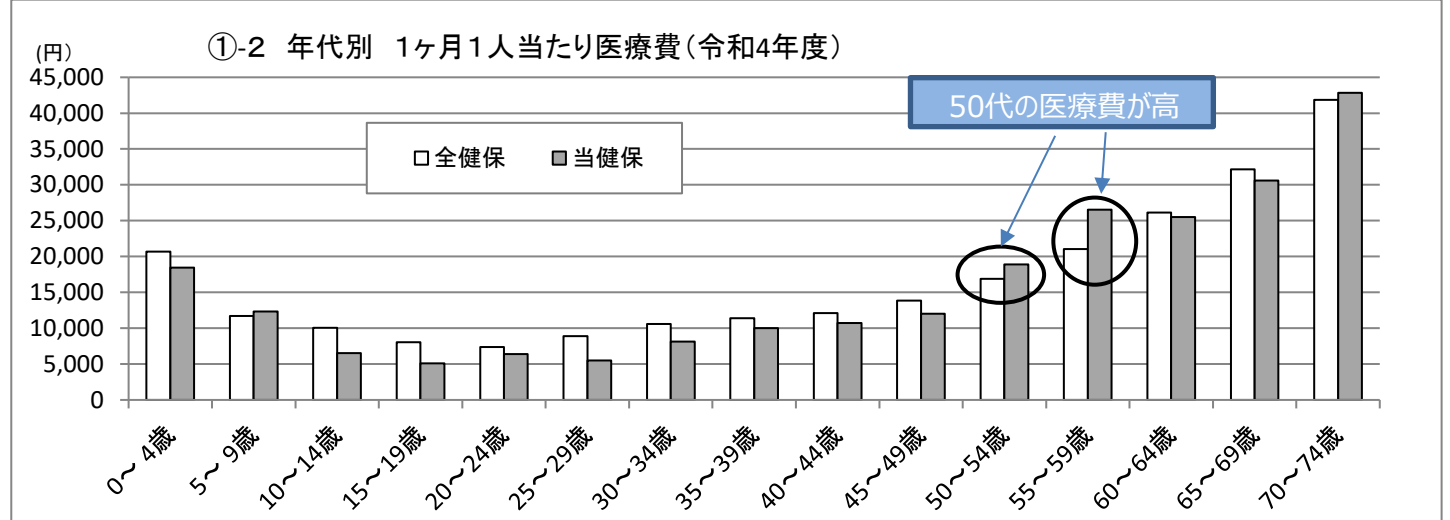
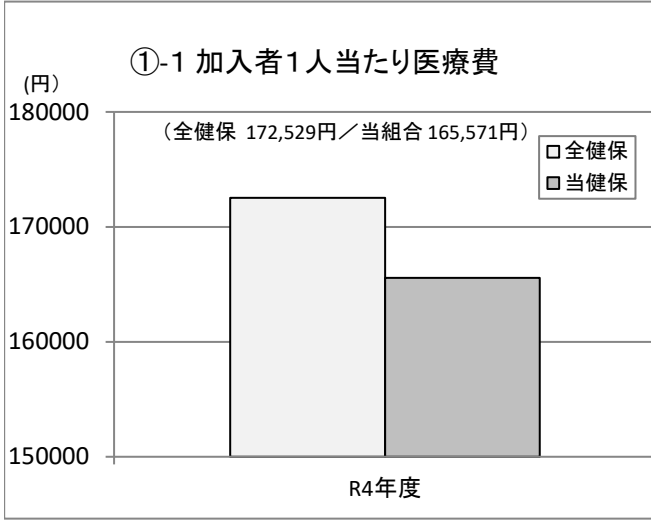
第3期 データヘルス計画

(計画策定日 令和6年2月13日)

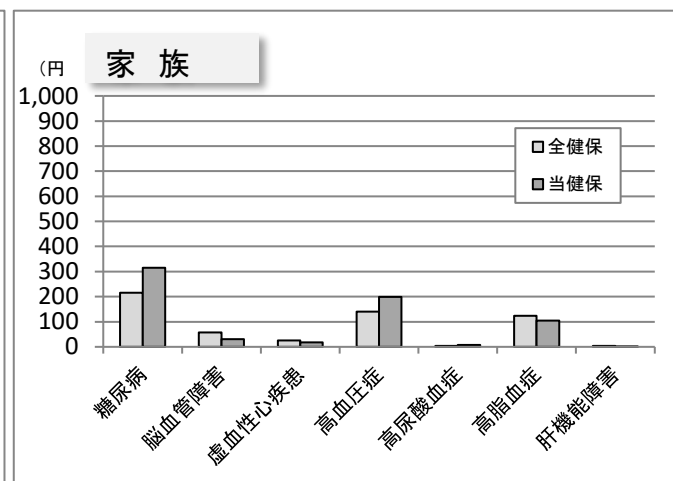
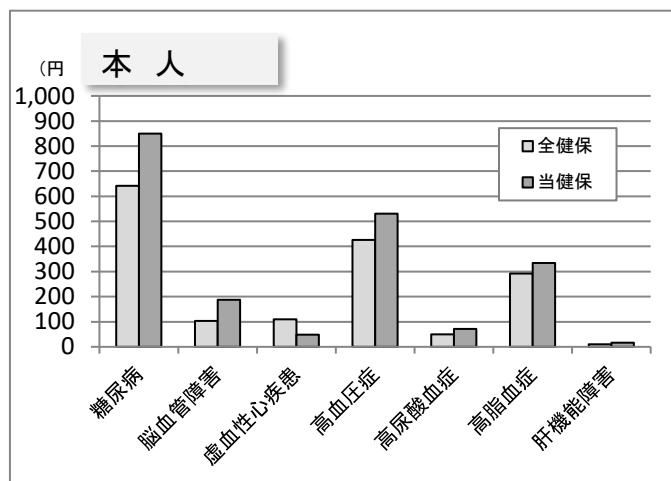
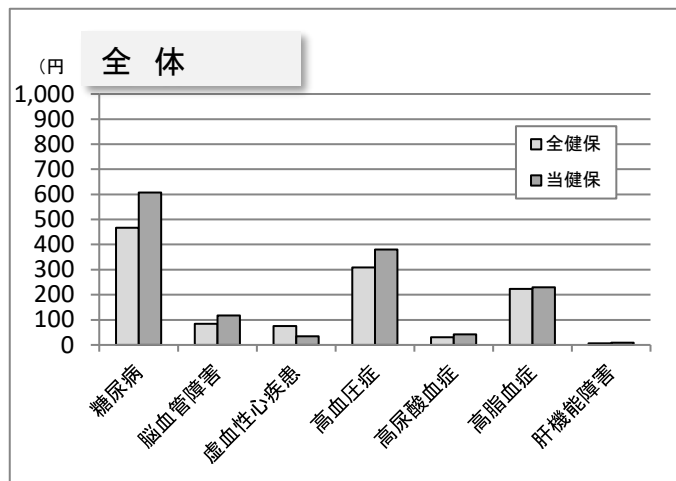
大平洋金属健康保険組合

1. 当健保組合の現状

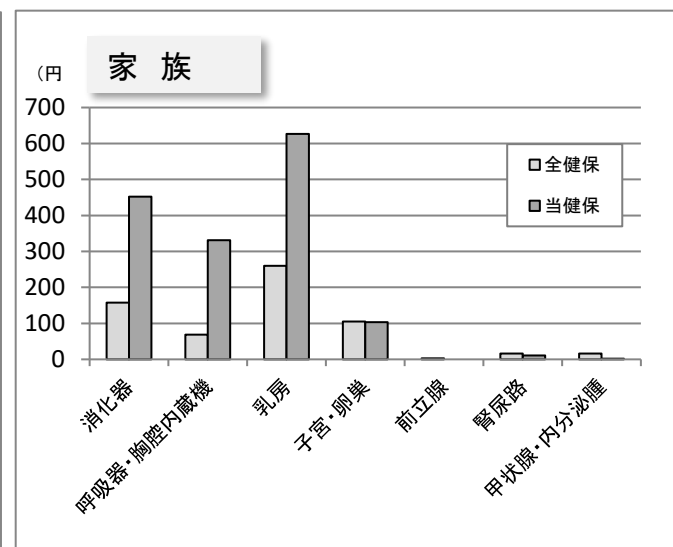
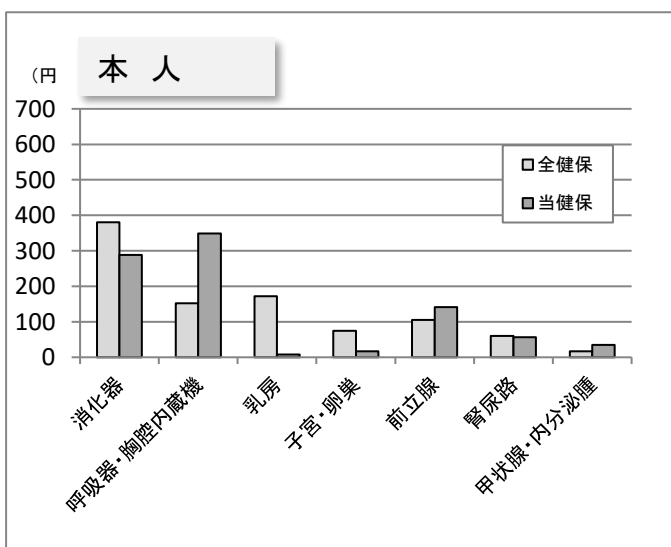
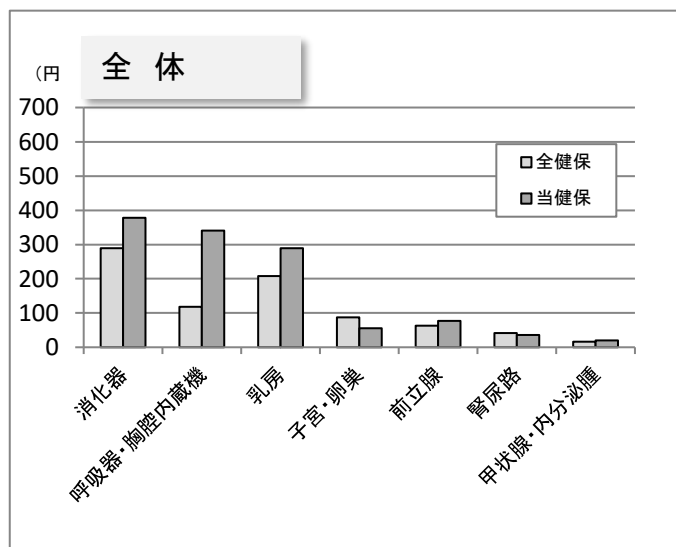
(1) レセプトから見た傾向(医療費の状況)



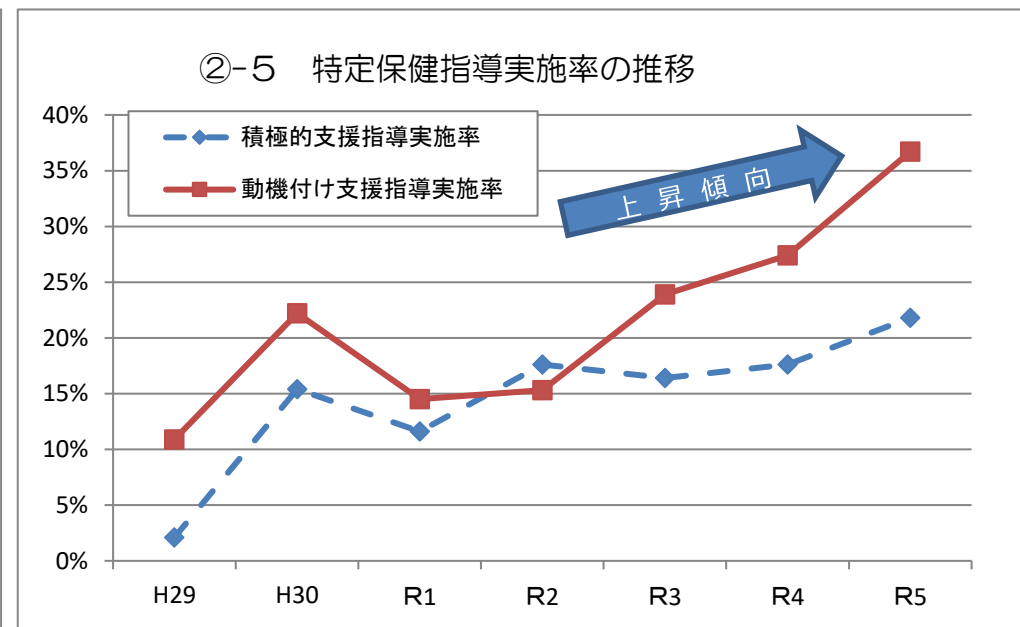
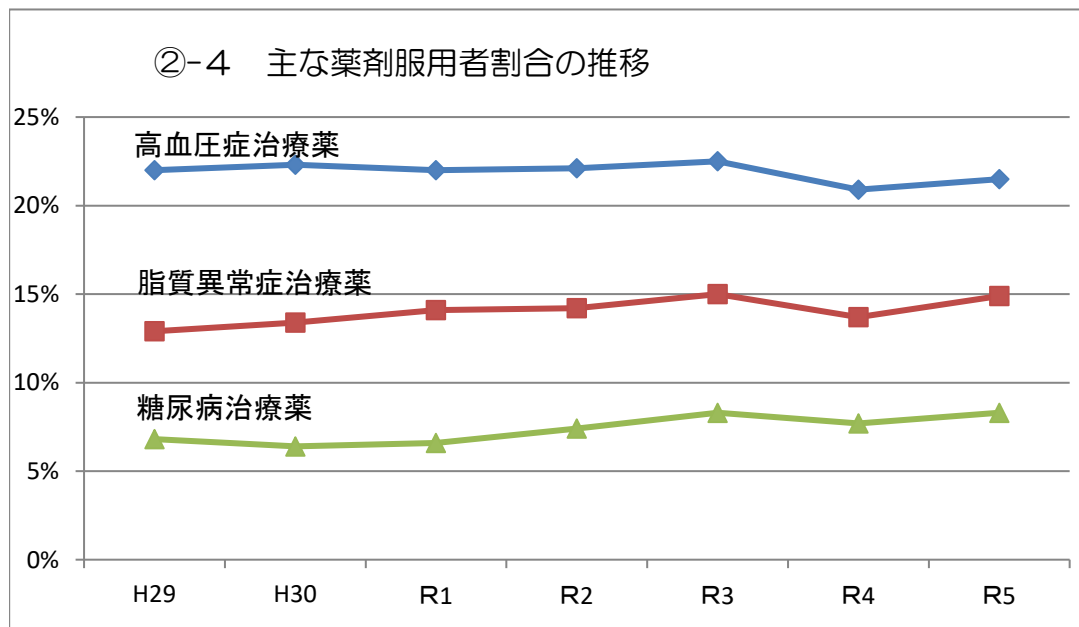
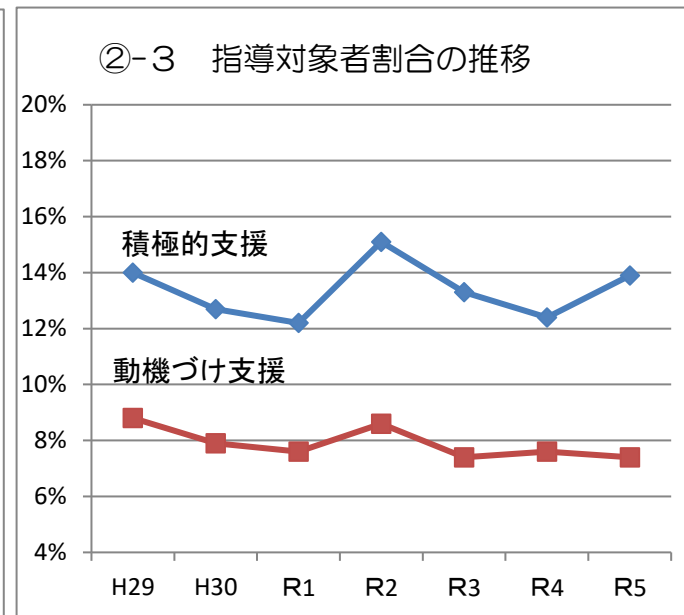
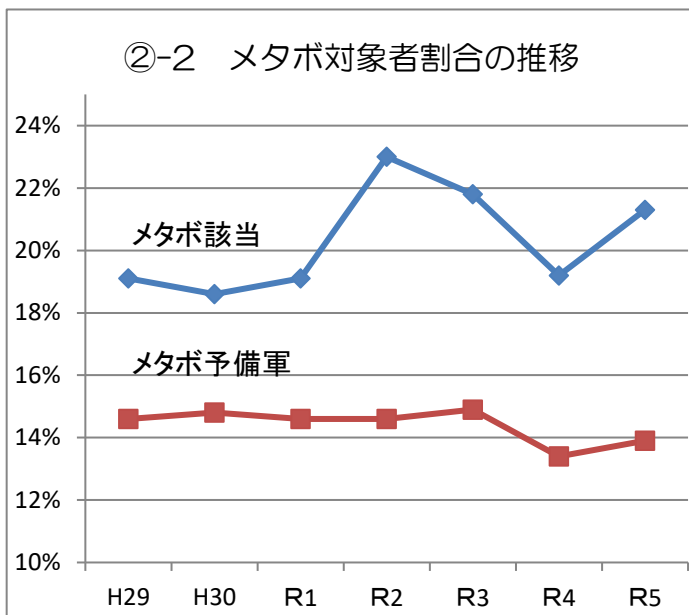
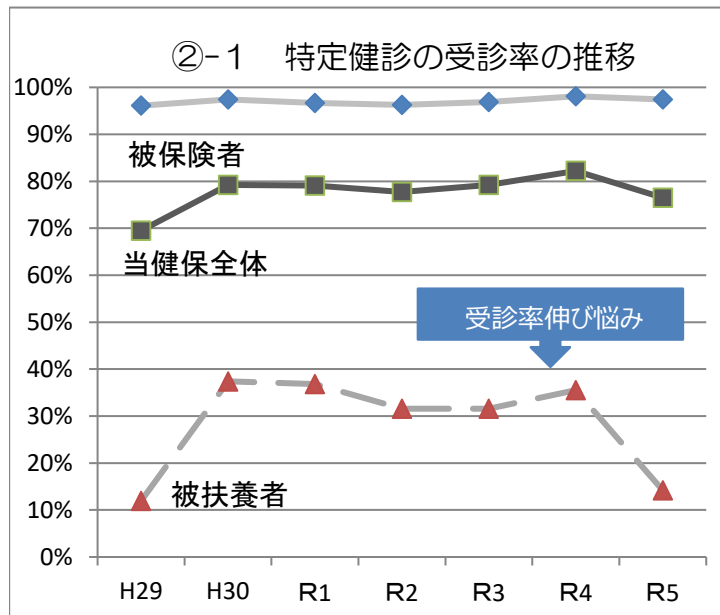
①-4 生活習慣病 1ヶ月1人当たり医療費（令和4年度）□



①-5 悪性新生物 1ヶ月1人当たり医療費（令和4年度）

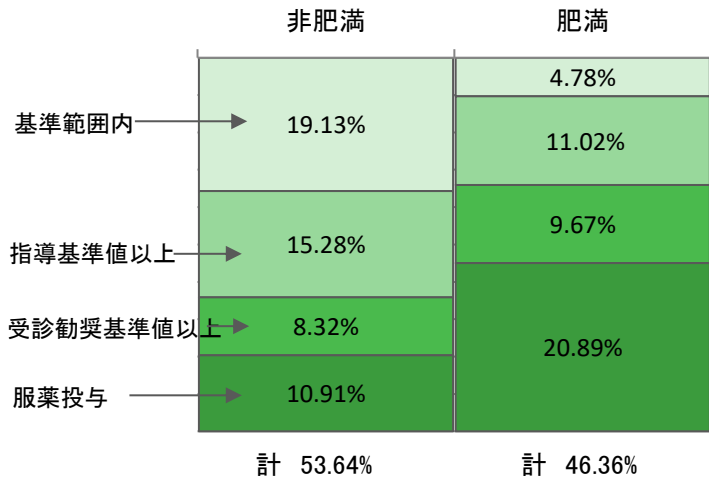


(2) 健診結果から見た傾向～年度比較

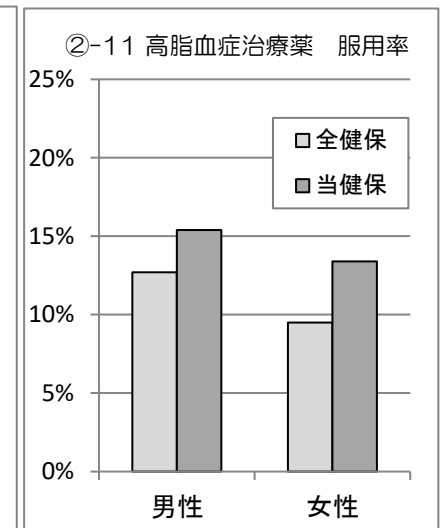
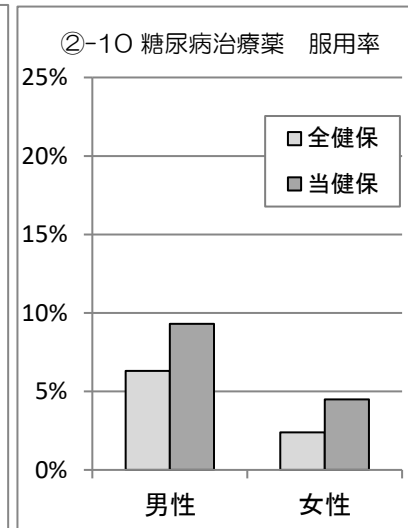
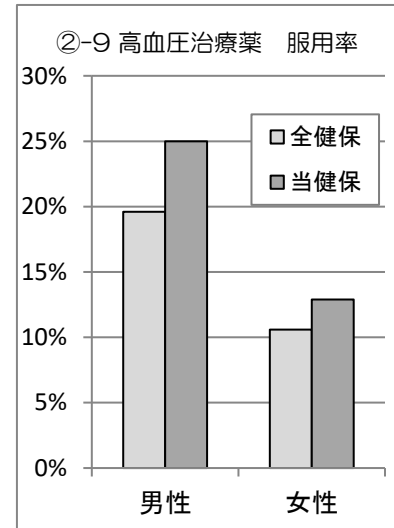
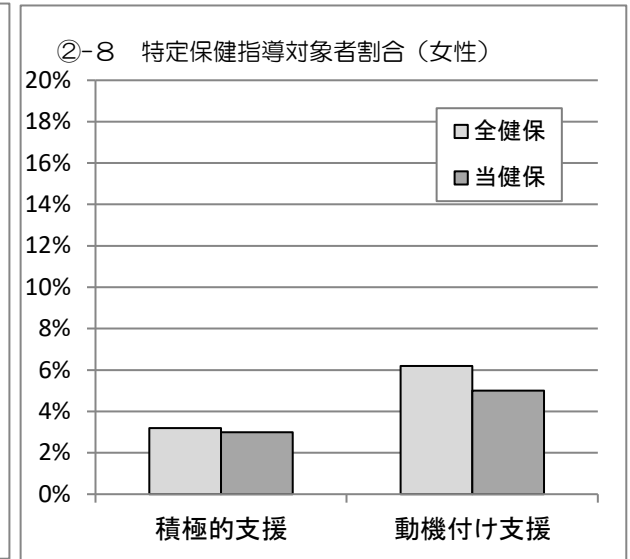
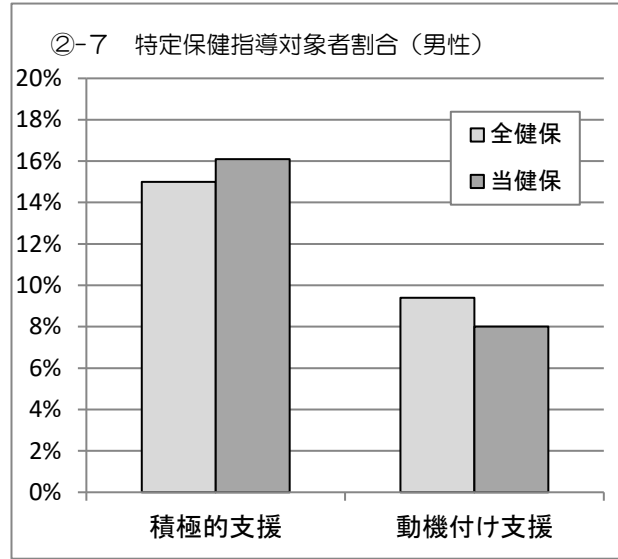
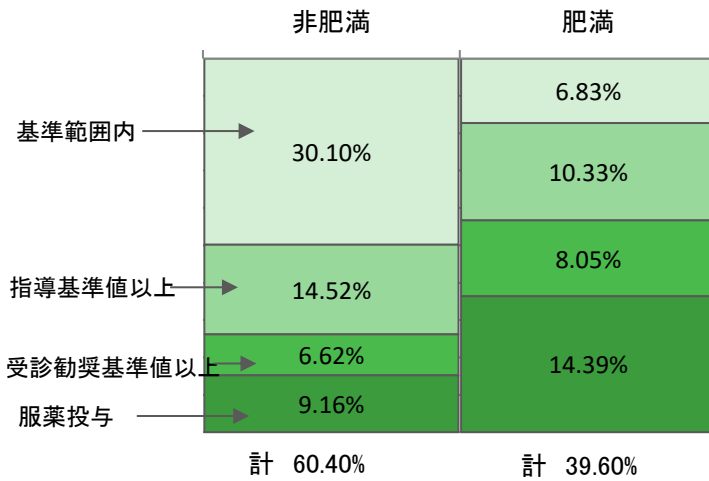


② - 6 R3特定健診 健康分布図（被保険者）

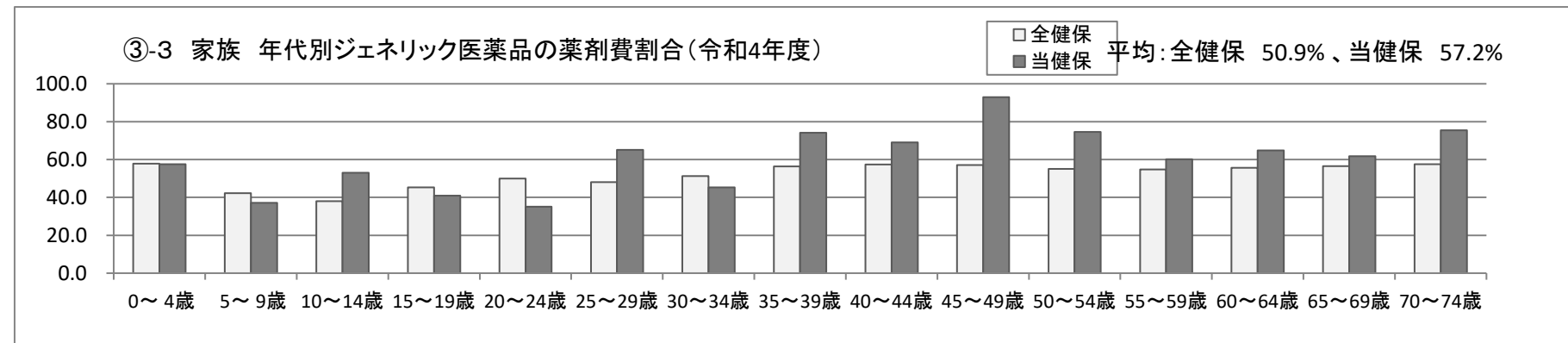
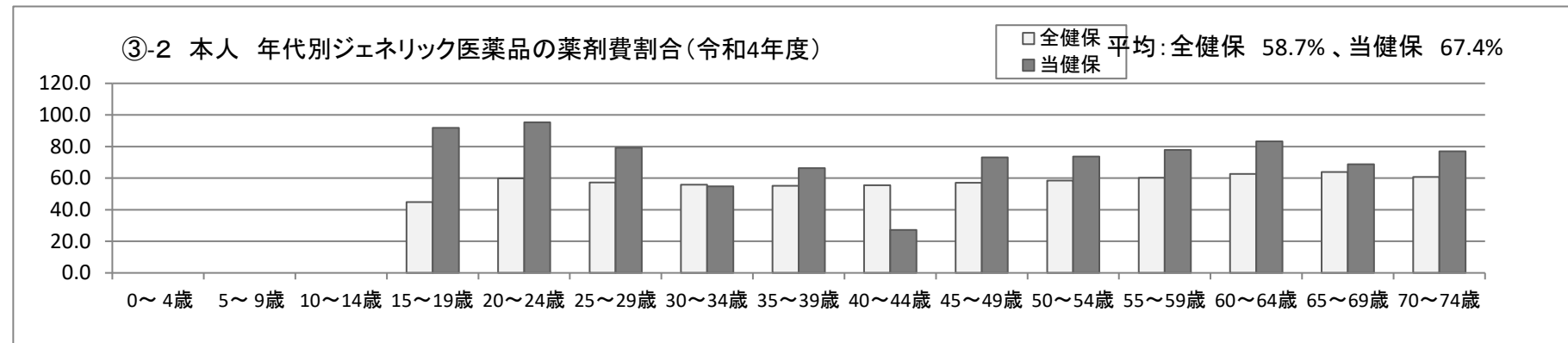
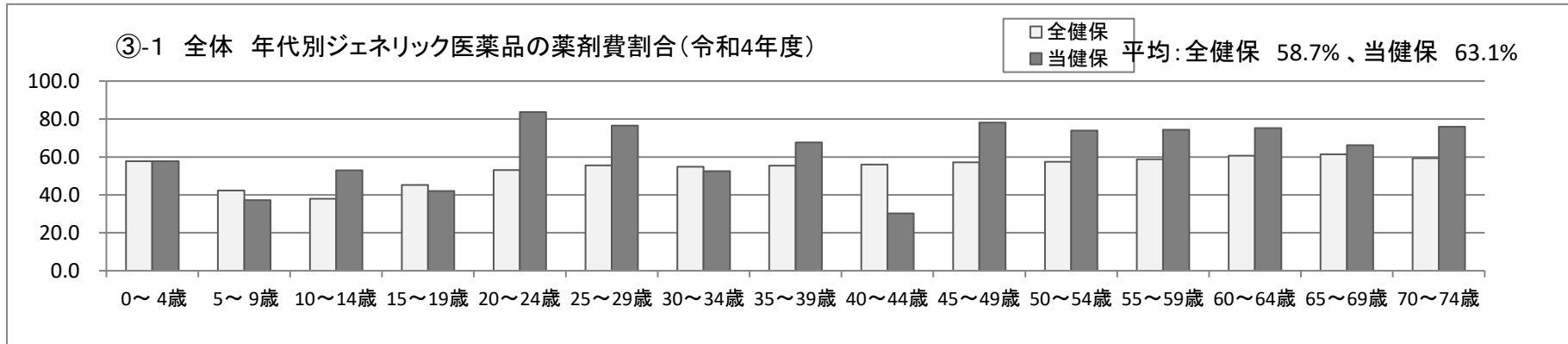
●当健保



●全健保



(3)ジェネリック薬の使用状況について



2. 第2期データヘルス計画を踏まえた現状と課題及び対策の方向性

第2期データヘルス計画を踏まえた現状と課題		対策の方向性	
レセプト分析より	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者一人当たり医療費は、当組合は165,571円となっており、全健保172,529円と比べ6,958円(-4.0%)少なくなっているが前回(H30年度)の当健保実績138,405円と比べると27,166円(+19.6%)多くなっている。 ・年代別1ヶ月1人当たり医療費は、他の年齢階層と比べ50代の医療費が全健保を上回っており高い傾向にある。 ・疾病分類別では、生活習慣病である①新生物②循環器疾患が全健保を大きく上回っている。特に、本人の医療費は糖尿病が全健保より約33%多く、高血圧症は全健保より約25%多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の中でも医療費が高く重症化すると合併症の発症リスクが高まる「糖尿病」と「高血圧症」対策として重症化予防冊子等の配布し受診勧奨を行っている。更なる対策として本人の検査結果や将来の生活習慣病の発症リスク評価が記載された通知文を配布することで、早期受診を促し重症化の予防につなげたい。 	
健診結果分析より	<ul style="list-style-type: none"> ・当健保全体の特定健診受診率は約70～80%の間で推移している。被保険者の受診率は95%以上を維持しているが、被扶養者の受診率は30%前後と低迷している。 ・被扶養者については、受診率向上のためH30年度よりパート先等で受診した結果を提供した方にはプリペイドカードを配布した。 ・特定保健指導はH30年度より指導終了者に対してプリペイドカードを配布した。R2年度より全対象者に対し、自宅等で指導を受けることができるICT型特定保健指導を選択可能とし、またR4年度から新たなICT型指導機関を追加した。 ・指導実施率は上昇したが、目標値の半分程度であり、後期高齢者支援金加算対象組合となる可能性がある。 ・健康分布図では、当健保の肥満率は46%で全健保の肥満率40%と比べ6%多い。また、高血圧・糖尿尿・高脂血症の3疾患の服用率も糖尿病女性以外は全組合より高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者支援金の加算の基準となる特定健診・保健指導実施率について過去の実績を踏まえて毎年度設定されるようになった。基準値は上昇傾向にあり加算率も同様に引き上げられている。当組合は保健指導の実施率が低いため、加算対象となる可能性がある。今後も事業所の担当者とも連携し、実施率向上につとめ後期高齢者支援金加算対象組合になることを回避したい。 	

3. 実施内容

「全健保組合共通様式」

予算 科目	注1) 事業 分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価		
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因			
特定 健康 診 査 事 業	1	特定健診 (被保険者)	【目的】 ・特定健診の受診率向上。 ・被保険者の健康維持及び増進。 【概要】 【一般】事業主が行う定期健診と併せて実施。 【任継】受診案内とともに受診券を自宅に郵送。	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員	190	●令和4年度 【一般】 受診者数 820人 (対象者数 829人) 受診率 98.91% 【任継】 受診者数 28人 (対象者数 35人) 受診率 80% 受診案内 35人 ・合計受診率 98.15%	【一般】 ・事業所、健診機関及び当組合で 三者間契約を結び健診結果を受 領。 【任継】 ・受診案内、受診券、特定健診 リーフレットを自宅に直送。	【任継】 ・特定健診に対する受診意識が低 い。	4
	1	特定健診 (被扶養者)	【目的】 ・特定健診の受診率向上。 ・被扶養者の健康維持及び増進。 【概要】 ・受診案内とともに受診券を自宅に郵送。	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	841	●令和4年度 受診者数 105人 (対象者数 295人) 受診率 35.59% 受診案内 295人	・受診案内、受診券、特定健診 リーフレットを自宅に直送。 ・未受診者へ受診勧奨案内を郵 送。	・特定健診に対する受診意識が低 い。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による 受診控え	1
	1	特定健診 利用奨励 (被扶養者)	【目的】 ・被扶養者の特定健診の受診率向上。 ・被扶養者の健康維持及び増進。 【概要】 ・パート・アルバイト先で受けた特定健診の個人 票及び質問票を健保に提出した被扶養者に対 しプリペイドカード(1,000円分)を贈呈。	被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当 者	7	●令和4年度 贈呈者数 7人 ※翌年度に贈呈	・受診案内や健康保健誌及びH Pなどで周知した。	・パート先などで健診を受けていない 可能性がある。 ・健保へ送付する手間がかかる。	5
特定 保 健 指 導 事 業	3	特定保健指導	【目的】 ・特定保健指導実施率の向上。 ・生活習慣病予備軍の減少。 【概要】 ・健診業者もしくは保健指導委託業者にて特 定保健指導を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当 者	1,043	●令和4年度 【動機づけ支援】 実施者数 20人 (対象者数 73人) 実施率 27.40% 【積極的支援】 実施者数 21人 (対象者数 119人) 実施率 17.65% ・合計実施率 21.35%	・事業主の協力を得て就労時間中 に 実施 ・ICTによる面談も選択可能。 ・前年度利用者に対しては実施機 関 が異なるI C T面談を案内した。	・特定保健指導に対する理解不足。 ・健康に関する意識づけをどう行うか。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による 面談控え	1
	3	特定保健指導 利用奨励	【目的】 ・特定保健指導実施率の向上。 ・生活習慣病予備軍の減少。 ・後期高齢者支援金加算対象健保回避策 【概要】 ・特定保健指導利用者に対しプリペイドカード (1,000円分)を贈呈。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当 者	45	●令和4年度 特定保健指導利用者数 41人 ※指導終了後に贈呈	・受診案内や健康保健誌及びH Pなどで周知した。 ・事業所の協力とインセンティブが特 定保健指導の利用促進に繋がっ た。	・インセンティブを得る事が目的となっ ているのではないか。	5

3. 実施内容

「全健保組合共通様式」

保 健 指 導 宣 伝	7	医療費通知	【目的】 ・医療費に対するコスト意識の啓蒙。 【概要】 ・年4回、一般被保険者は事業主を経由して配付し、任継は直接郵送する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	114	●令和4年度 年間配付数 5,194通	・基幹システム業者に出力を委託。	・受け取った被保険者が内容を精査しているかどうか不明である。	5
	4	健康保健誌	【目的】 健康情報の提供と組合からの情報発信。 【概要】 ・当健保組合の実情に即した保健誌を配付。 ・年2回、自宅へ直接郵送。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1,017	●令和4年度 年間配付数 3,210冊	・自宅へ直送している。 ・冊子の記事を当組合で選択できるため、実情に即した情報を提供できる。 ・健保組合情報（予算・決算等）を発信している。	・健康保健誌を配付したことによる効果がわかりにくい。 ・記事の内容にまんねり感が生じやすい。	5
	4	健康管理講習会	【目的】 ・一般被保険者に対する健康意識の啓蒙。 【概要】 ・事業所にて実施した健康に関するセミナーに対し補助金を支給。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	0	●令和4年度 実施事業所 2事業所	・事業所の状況や環境に応じた内容でセミナーを実施することが可能。	・事業所によって偏りが生じやすい。	2
	4	健康冊子の配布	【目的】 ・特定健診の受診及び特定保健指導の利用勧奨。 【概要】 ・4月に配付する特定健診受診券に冊子を同封。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当者	24	●令和4年度 配付対象者数 375人	・自宅へ直接郵送。	・内容に変化が乏しいためマンネリ感が生じやすい。 ・配布による特定健診・保健指導の実施率向上への効果がわかりにくい。	5
	7	ジェネリック薬推進	【目的】 ・医療費の削減を図る。 【概要】 ・毎年9月、ジェネリック薬差額通知にジェネリック薬に関するリーフレットを同封して配布。 ・対象は30歳以上で年間の削減額が3,000円以上の者。	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	基準 該当者	4	●令和4年度 ジェネリック薬差額通知 配付数 90人	・全員に配付するのではなく、一定額以上の効果がある方に配付。 ・医療費のお知らせと一緒に配付。	・ジェネリック薬に対するネガティブな意識を払拭する必要がある。	5
	4	健保フォトニュース	【目的】 ・健康意識の向上と増進。 【概要】 ・年4回、各事業所にポスターを配付し、事業所内掲示板への貼付を行う。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	339	●令和4年度 配付数 のべ年間268枚	・事業所掲示板に貼付することにより、一般被保険者の目に触れることが多くなる。	・同じポスターが3ヶ月掲示されるため後半は新鮮味に欠ける。	5
	4	重症化予防対策	【目的】 ・健康意識の向上及び医療費の抑制。 【概要】 ・血圧・血糖及びHbA1cの値が高く、医療機関を受診していない方に対し、重症化予防や受診勧奨に向けた冊子を配付する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当者	26	●令和4年度 高血圧症対象者 151人 糖尿病対象者 37人	・健診結果及びレセプト情報を基に対象者を抽出するため、ピンポイントでコースに合った情報を届けることが出来る。	・同じような情報が溢れている中、冊子の効果を図りにくい。	5

3. 実施内容

「全健保組合共通様式」

保健指導 宣伝	7	健康管理推進委員会	【目的】 ・保健事業の効果検証及び企画・立案。 【概要】 ・年2回、各事業所の健康管理推進委員を招集し会議を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	0	●令和4年度 年2回開催（オンライン開催）	・各事業所の健康管理担当者が委員として参加することにより、被保険者のニーズに合った事業を展開することができる。	・開催日の日程調整が難しい。	5
	疾病 予防	1	胃がん検診	【目的】 ・胃がん、胃潰瘍等消化器系疾患の早期治療、予防。 【概要】 ・35歳以上の被保険者及び被扶養配偶者に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	基準 該当者	3,401	●令和4年度 実施者数 830人/1,460人	・一般被保険者は定期健診と併せて実施。	・任継及び被扶養配偶者の受診意識が低い。
1		大腸がん検診	【目的】 ・大腸がん、消化器系疾患の早期発見、予防。 【概要】 ・35歳以上の被保険者及び被扶養配偶者に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	全員	1,302	●令和4年度 実施者数 961人/1,460人	・一般被保険者は定期健診と併せて実施。	・任継及び被扶養配偶者の受診意識が低い。	3
1		婦女子健診	【目的】 ・婦人科系疾患の早期発見、予防。 【概要】 ・30歳以上の女性被保険者及び被扶養配偶者に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	女性	30	～	74	全員	360	●令和4年度 実施者数 のべ274人/520人	・一般女性被扶養者は定期健診と併せて実施することが多い。	・任継及び被扶養配偶者の受診意識が低い。	2
1		口腔検診	【目的】 ・口腔疾患の早期治療、予防。 【概要】 ・35歳以上の被保険者及び被扶養配偶者に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	全員	468	●令和4年度 実施者数 204人/1,460人	・一般被保険者は事業所において集団検診を実施。	・任継及び被扶養配偶者の受診意識が低い。	1
1		肝炎ウイルス検査	【目的】 ・C型、B型肝炎ウイルス感染の早期治療、予防。 【概要】 ・当年度40歳到達者及び40歳以上で過去に当検査を受けていない希望者に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当者	138	●令和4年度 実施者数 53人	・一般被保険者は定期健診と併せて実施。	・任継及び被扶養配偶者の受診意識が低い。	1
1		前立腺検査	【目的】 ・前立腺がんの早期発見、予防。 【概要】 ・50歳以上の被保険者に対し補助を行う。	被保険者	全て	男性	50	～	74	基準 該当者	820	●令和4年度 実施者数 445人/471人	・一般被保険者は定期健診と併せて実施。	・任継の受診意識が低い。	4

3. 実施内容

「全健保組合共通様式」

疾病 予防	1	その他健診	【目的】 ・肺がん等の早期発見、予防。 【概要】 ・「住民（自治体）健診のおすすめ」の案内を郵送。 ・一般健診及び肺がん検査を受診した任意継続被保険者及び被扶養配偶者に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	基準 該当 者	74	●令和4年度 実施者数 一般健診 21人 肺がん検査 33人	・利用者は窓口で健診料金を支払い、後日、健保組合に補助金を申請する。	・任継及び被扶養配偶者の受診意識が低い。	1
	1	脳ドック	【目的】 ・脳疾患の早期発見、予防。 【概要】 ・40歳以上の被保険者及び被扶養配偶者に対し補助を行う。 ・事業所毎に受診人数枠を設定。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当 者	1,340	●令和4年度 実施者数 78人/105人	・健診機関と個別契約を結び、利用者は窓口で一部負担額を支払う。	・事業所により受診に対する温度差がみられる。	3
	7	インフルエンザ 予防接種	【目的】 新型コロナ及びインフルエンザへの対策。 【概要】 全被保険者へ補助を行う。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	583	●令和4年度 実施者数 583人/1,588人	・被保険者が医療機関または事業所で予防接種を受け、それに対して健保で費用補助を行う。	・事業所ごとの接種率に差がみられる。	1
体育 奨励	7	各種スポーツ大会	【目的】 ・体力の維持・健康の増進。 【概要】 ・事業所が行うウォーキング大会やスポーツ大会に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	38	●令和4年度 [パークゴルフ] 参加者数 41人 [マラソン大会] 参加者数 7人 [ウォーキング] 中止 [スキー] 中止 [ポーリング] 中止	・各事業所のニーズに合わせて開催。	・参加者の偏りが見受けられる。 ・新型コロナ感染拡大の影響による不安	1
	7	リフレッシュ施設	【目的】 ・体力の維持・健康の増進。 【概要】 ・健保が契約を結んでいるスポーツクラブ（ルネサンス）を会員価格で利用できる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	0	●令和4年度 利用者1名	・組合ホームページにて定期的に周知。	・利用者が少ない。	1
	7	運動機器	【目的】 ・体力の維持・健康の増進。 【概要】 ・事業所にて運動機器を購入した場合に補助を行う。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	0	●令和4年度 実績無し	—	—	1
契約 保養 所	7	契約保養所	【目的】 ・被保険者及び被扶養者の心身リフレッシュ。 【概要】 ・「休暇村」と契約し、利用者に対し補助を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	11	●令和4年度 利用者数 4人	・施設と契約を結び、利用者は窓口で一部負担を支払う。	・利用者が少ない。 ・新型コロナ感染拡大の影響による不安	1

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上